

活動報告

女性セミナー
いきいきカレッジ

合同学習「箏と尺八による春の調べ」

1月30日、合同学習として「箏と尺八による春の調べ」を開催し、一般の方も含め20人が参加しました。尺八の今井さん、八



巻さん（篠笛も）、箏の今井さん、朝倉さんの4人の和楽器演奏で、一緒に歌ったり、独奏もあり、和の調べを楽しみました。

ピアノ&歌声ミニコンサート

合同で開催

2月16日、昨年に引き続き講師を八巻和也さんをお願いし、ピアノ&歌声ミニコンサートを開催しました。一般の方も合わせ28人が参加し、講師ご自身の進行で、スピーチも楽しく、ピアノの音色に聞き入りま



「減塩と野菜の食べ方の話」を学習

2月22日、女性セミナーメンバー6人が参加して、「減塩と野菜の食べ方の話」をテーマに、伊達市健康推進課地域保健係の栄養士・高橋徳子さんからお話いただきました。はじめに、各自、味覚チェックを行い、減塩の必要性を認識しました。健康だから美味しく食べることができる！美味しく食べるから健康で長生きできる！正しい知識を持つことが大事です。

女性セミナー・いきいきカレッジ閉級式開催

3月21日、女性セミナー・いきいきカレッジの特別鑑賞会と閉級式を行いました。霜山幸八さんの演奏で「ハモニカでなつかしく」として講師手作りの歌詞カードを見ながら文部省唱歌から演歌まで、参加者32人でマスク越しの歌を楽しみました。短い休憩を挟んで、閉級式を行い、一年間の反省をしました。

一生涯いきいきとして過ごすために、次年度も是非ご参加ください！

せきもと成人講座

(男女年齢不問)

募集 月に一度の楽しい集いです。

今年度から一本化します。人生一〇〇年時代!! いつまでも健康で楽しく、いきいきと、みんなで学びましょう! 今年度受講生を募集します。

申込書に記載の上、交流館に申込んでください。

© 堰本地区交流館 TEL 577-6277

令和6年度総会は5月半ば開催予定

昨年までコロナ感染の影響で開催できませんでしたでしたが、今年は今令和6年度せきもとさとづくり推進協議会総会を5月なかばに開催予定しています。関係各位には日程が決まり次第、通知を送ります。

愛宕山公園整備事業

さとづくりでも新田会に協賛し、整備中

伊達市地域づくり支援事業交付金を受けて愛宕山公園の整備事業を新田会が申請、承認されて景観形成維持活動を行っています。せきもとさとづくり推進協議会も連携して活動を進めています。



堰小150周年記念植樹

3月11日には記念植樹をさとづくり、交通安全協会堰本分会との共催で、児童たちと桜の植樹を行いました。

カラコエ鉢にお礼

事務室に花を添えて、荒野町内の山崎さんからカラコエの鉢植えを3鉢いただきました。



きれいに窓口に彩っています。ありがとうございます。ありがとうございました。

編集後記

桜満開の4月8日に堰本小学校の入学式があり、8人の新入生を迎え、全校生68人となりました。年々児童数が減っている現在、「子は宝」という言葉に、家庭はもとより、地域での育みに重みを感じられます。

表紙の写真は、新1年生・富沢未琴さん、渡辺丈さん、三浦梨央奈さん、それぞれのご両親です。幼稚園から一緒に3人は、小学校でも他の児童たちとも仲良く過ごし、元気に通学することでしょう。応援しています。ご協力ありがとうございました。



人と地域を育む愛宕の里せきもと

令和6年春号（季刊誌）NO.20

里づくりせきもと

せきもとさとづくり推進協議会



令和5年度堰本さとづくり標語
決定し、地区内に看板掲示

令和5年度の堰本さとづくり標語は、堰本小学校児童に募集し、厳正な審査の結果、次のように決定しました。

2月5日に小学校体育館で表彰式を行い、14人の児童に記念品を添えて表彰しました。

14枚の標語看板は、地区内に掲示してあります。



上：会長より表彰 下：看板を背に記念写真



☆あいきつの 花さかせよう せきもとに
1年 渡邊 みつきさん (阿武急新田駅)

☆イノシシと くりのきょうそう どっちがおおい
1年 國分 柊那さん (入ノ内津田商店前)

☆せき本は しぜんひかる みどりの町
2年 高橋 柚果さん (上原長町)

☆えがおさく みんなが元気な せきもとだ
2年 清水 新さん (花立精米機前)

☆守ろうよ みんなのえがお あかるいみらい
3年 佐藤 陽葵さん (浅間入口)

☆せき本は みどりいっぱい きれいなまち
3年 菅野 真蔵さん (新田荒野赤石)

☆堰本は みんなのえがおで おもてなし
4年 渡邊 空生悟さん (ローソン陽光台)

☆いつまでも 堰本おんど おどろろよ
4年 大友 ゆず芭さん (大関集会所)

☆友達は 笑顔とともに 生まれるよ
5年 佐藤 大惺さん (新田農村公園)

☆安全に 登下校 感謝して
5年 佐藤 結羽さん (細谷津田建設前)

☆堰本は 緑かがやく きれいだね
5年 橘 あかりさん (東木田消防屯所前)

☆堰本は 自然といっしょに 育っていく
6年 佐藤 美桜さん (堰本地区交流館)

☆堰本の 歴史いっぱい 百五十周年
6年 谷口 友香さん (せきなみ中ノ内橋)

☆山があり 野菜があつての 堰本だ
6年 菊地 大翔さん (JA堰本支店)

さとづくりで資源回収実施
収益金を能登半島地震の
被災地支援のために寄付
代表3人が民報社に訪問

コロナ禍で許されなかった移動が解かれ、楽しいお正月が能登半島を襲った震度7の地震で一変してしまいました。寒い中、水も無く、電気も通らず、人を助け出すことさえ出来ない様子をテレビで見ているだけでやりきれない気持ちでした。令和6年能登半島地震義援金が3月で一区切りになる事を知り、せきもとさとづくり推進協議会生活安全部会では資源回収をして義援金をおくることにしました。業者さんとの兼ね合いで、急遽日程を2月21日と決定し、各家庭へチラシでご協力をお願いいたしました。大変急な取り組みとなってしまい、役員の皆様、各町内会の皆様には、お礼とお詫びをいたします。

幸い当日は、寒さも和らぎ、理事、町内会長、女性委員、各町内会の大勢の方々に堰本地区交流館駐車場に古紙、アルミ缶、段ボール等を運んでいただきました。堰本の皆様の温かい気持ち、総額12万881円になりました。3月15日、澁谷会長、菅野吉副会長、町内会長代表して東前町内の橘豊さんと3人で民報社を訪れ、「令和6年能登半島地震義援金」へ託しました。



(地域安全部会部 菅野吉)

地域の活動(団体紹介)

堰本の防犯をめざして



堰本防犯協会 会長 橘 典雄

地域の皆さんが安全安心して暮らせるように、警察や各機関と連携し、地域を見守り地域安全活動を行う団体として「防犯協会」が全国47都道府県に設置され、活動しています。防犯協会堰本支部は、伊達警察署生活安全課の所属であります。防犯連絡所は地域の所属になり、地域見守りのサポートをしています。防犯連絡所の指定は、伊達警察署地域課の審査があり、審査が通って承認されます。交代する時は伊達警察署の承認が必要で、承認されないと連絡所としては指定されません。毎年か2年ごとに連絡所を交代の報告をしてくる町内会があります。基本的には正式に連絡所の交代を承認されてからとなります。堰本地区でも承認されなかったケースがありまして。一旦、防犯連絡所として指定され、数十年担当している方もおります。

ここ3年間は広報と見守り隊の活動以外はほとんど実施できませんでしたが、昨年度は会費の徴収はしませんでした。今年度からは完全実施するつもりです。コロナとインフルエンザが鎮静化されるのを心より願うところです。

これからも全力で地区の防犯と無災害を実現できるよう頑張っていきたいと思いますので、絶大なご支援、ご協力をお願い申し上げます。防犯協会のあいさつといたします。

防犯協会堰本支部の年間活動

堰本地区全域の防犯広報

毎月10日と20日

理事3人一組で、6時30分から

7時30分までの間、地区内を一

巡します。

☆夜間診断 8月と12月

戸締りと火の用心を、消防団員

30人と防犯連絡所と理事30人

で、堰本地区内の880戸全戸を

一軒一軒訪問します。

☆堰本小学校生の見守り隊参加

2人1組で、年間延30日、午後

から全地区見守りします。

☆新田駅前で放置自転車の調査



きいた一本の桜も今年に咲いた

地域の方々紹介

町内会長在任12年間を振り返って



橘 豊 さん 東前町内会

県外での勤務を終えた平成20年、町内会長職を引き受ける事になりました。町内会長として様々な行事に参加しましたが、1年任期で反省ばかりの1年間でした。

時が過ぎ、平成24年に町内会長職の任が再び当班に廻ってきまし た。当時は班回りで選出)ので、前回の経験を生かしたいと考え、2回目となる町内会長の役を自ら引き受けました。翌々年、平成26年の役員改選で、単年度任期を2度努めた経験から会長職の任期を2年間にすべく提案を総会で諮ったところ、当時の行政も任期2年間で推奨しており、多数の賛同の声があり、席上「提案者から会長職スタート」と相成りました。この事が10年間トータル12年間の町内会長職を努める原点となった訳です。

人は誰しもが誰かの役に立たたいとの思いを持っています。当町内会における役員選出時は、「役を引き受けたい(断る)理由は探さない」「役は前向きに積極的に受ける

事」とりまく環境を理解し無理には役を押し付けられない」という事です。町内会長の役割は一般的には「町内を代表し自治組織内の多様な要望、問題等に対して対応することです。要は地域の皆さんがストレスを感じる事なく、穏やかに過ごせる環境作りのお手伝いです。お互い様との思いやりの気持ちで接する事、あの人は、あの家は、過敏な指摘はしない事が大事です。

今年3月をもって町内会長職を辞しましたが、今後は12年間の経験をバックヤードの立場で地域発展に尽くしたいと考えております。「町内会があなたのために何が出来るのかを問うのではなく、あなたが町内会のために何が出来るのかを問うてください」：J・Fケネディの演説引用

最後に、町内会長は堰本地区消防後援会員でもある関係で、自身の時間を割いていつ起きるかも知れない災害等に備え、訓練に励んでいる消防団員の方々の姿を何度も見て参りました。いち早く現場に駆けつけ、いざという時、頼りになるのは消防団員の方々です。感謝の気持ち、労いの気持ちを保持して、これからも温かく見守りたいと思います。